

2017 年度
愛知県立大学日本語教育実習

外国人と日本人のための防災ガイドブック
～やさしい日本語とは～

愛知県立大学日本語教員課程

やさしい日本語とは？

こんにちは！

私達は、愛知県立大学の日本語教員課程で学んでいる日本語実習生です。日本語を母語としない人たちに日本語を教える「日本語教師」になるための実習を受けています。

さっそくですが、「やさしい日本語」という言葉を聞いたことはありますか。私たち実習生も、日本語教員課程の授業で初めて聞いた、知ったという学生が多いです。日常生活では、あまり使わないかもしれませんが、外国人住民の増加とともに、ときどきテレビニュースなどでもとりあげられるようになってきました。

「やさしい日本語」でのコミュニケーションは、ふだん話す日本語より、簡単なことばを使い、短い文で話します。そうすると、日本語を母語としない人たちにも、理解しやすくなります。この「やさしい日本語」は 1995 年 1 月の阪神・淡路大震災がきっかけで生まれました。

阪神・淡路大震災は、非常に大きな被害を与えました。

この時、日本人だけでなく、日本に住む多くの外国人も被害を受けました。1994 年 6 月末時点で、兵庫県の外国人登録者数は 98,795 人で、これは当時全国 4 位で、全人口に対する外国人比率は全国 3 位でした。不法滞在者や観光、商用目的の一時的な滞在もあわせると、その当時兵庫県にいた外国人の数はさらに多いでしょう。その中には、日本語も英語も十分に理解できず、必要な情報を受け取ることができない人も多数いました。

これを受けて、日本語も英語も十分に理解できない方でも、災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」なのです。

「やさしい日本語」とは具体的にどのようなものでしょうか？

日本語を「やさしく」するためには、どうすればいいのでしょうか。日本語を母語とする人にとっては、漢字をひらがなにしたり、子どもや赤ちゃんに話しかけることをイメージするかもしれません。

しかし、日本語を母語としない人にとって、漢字をひらがなに書き換えたり、難しい言葉を使わなければ、「やさしく」なるわけではありません。一文一文を短くする必要があるので、一度に伝えられる情報も少なくします。やさしい日本語のルールを知り、内容の要点を正確に伝えることが大切になってきます。下のポイントを読んでください。

～やさしい日本語の作り方～

1. 難しいことばを避け、簡単な語彙を使う。
2. 1文を短くして、文の構造を簡単にする。文を分かち書きにして、ことばのまとまりを認識しやすくする。
3. 災害時によく使われることば、知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使う。(そのあと〈〉で言い換えを表記。)
4. カタカナ・外来語はなるべく使わない。
5. ローマ字は使わない。
6. 擬態語や擬音語は使わない
7. 使用する漢字や、漢字の使用量に注意する。すべての漢字にルビ(ふりがな)を振る。
8. 時間や年月日は外国人にも伝わる表記する。
(例：2018年(ねん)1月(がつ)26日(にち)、午後(ごご)6時(じ)18分(ふん))
9. 動詞を名詞化したものはわかりにくいので、できるだけ動詞文にする。
10. あいまいな表現は避ける
11. 二重否定の表現は避ける。
12. 文末表現はなるべく統一する。

弘前大学人文学部社会言語学研究室

「『やさしい日本語』にするための12の規則」より

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ9tsukurikata.ujie.htm>

これらのポイントをふまえて、やさしい日本語で話してみましよう。

やさしい日本語クイズ！

震災時に必ず使うことばとして「避難所」があります。これは、日本語を学び始めた人には少し難しいでしょう。

次の場面を想像してみてください。

隣の家には、日本に来たばかりの外国人が住んでいます。日本には仕事で来ているようです。日本語は勉強中ですが、あいさつをしたり、簡単なことが少し話せる程度です。地震で彼の住居は大きく壊れてしまい、食べ物にも困っているようです。

そんな時、あなたは近くの避難所で炊き出しがあるという情報を手に入れました。このことを教えてあげたいと思い、彼に言いました。「近くの避難所で食べ物がもらえるそうですよ。」でも、彼はどうも理解できていないようです。「避難所」ということばが難しいからかもしれません。こんなとき、あなたなら、どのように説明しますか。



「やさしい日本語」にしてみましよう

1. 避難所

→

2. ご自宅にご遺体を安置されている方は、～課にご連絡ください。

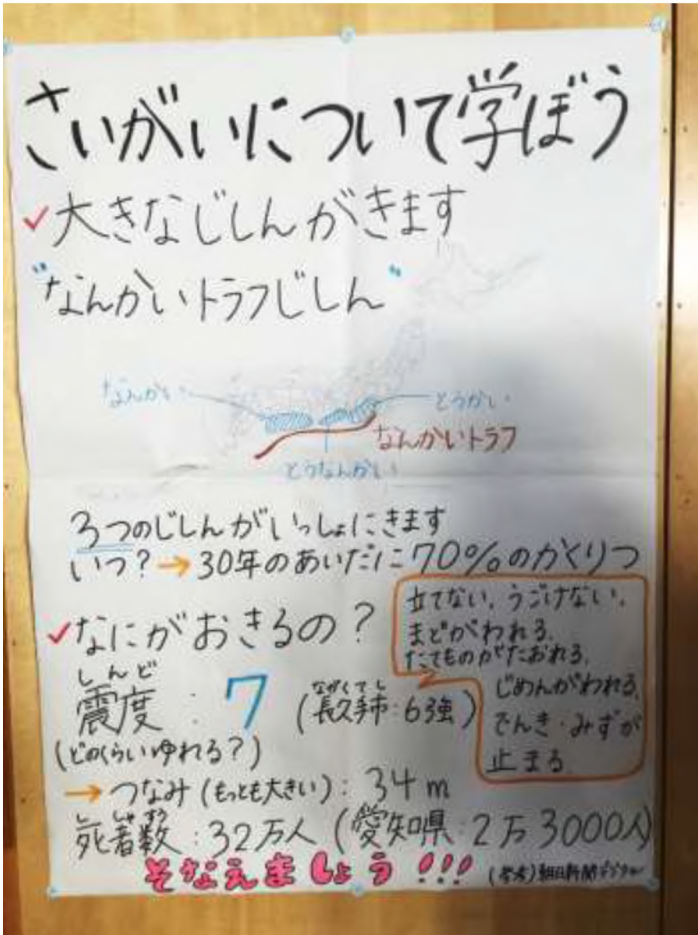
→

3. 大きな津波が到達する恐れがありますので、沿岸部や川沿いにいる方は、高台等の安全な場所へ避難してください。

→

毎年 11 月第 3 日曜日におこなわれる長久手市の防災訓練で、わたしたち実習生は、「やさしい日本語」を用いてポスターを作りました。

防災訓練
ポスター展示



やさしい日本語の必要性

法務省が公開している在留外国人統計(2017年6月現在)によると、約247万人の外国人が日本に滞在しています。ビジネスマン、医療従事者、留学生、研修生、ワーキングホリデー、インターンシップ、家族滞在など様々な人がいます。今後も、日本に滞在する外国人はますます増えていくでしょう。

「外国人」というと、「日本語はできなくても英語は話せる」とイメージしがちですが、在留外国人のほとんどは英語が母語でない国の出身です。日本語が話せない。英語もわからない…となると、日本に住む外国人にとっては、日本語のほうがまだ理解できるという人も少なくないでしょう。なにより、日本人にとっても、英語よりも「やさしい日本語」のほうが話しやすいのではないのでしょうか。

では、外国人が災害時に必要なことばを先に学べばよいと思うかもしれませんが、しかし、話はそう単純ではありません。彼らにも生活があり、日常生活に必要な単語の方が優先されるからです。また、災害時に必要なことばを全て学ぶには、それなりの時間がかかります。

もしもの時、より多くの人々が助かるために、「やさしい日本語」をもっと広めていく必要があると、私たちは考えています。



3 ページの「やさしい日本語クイズ」の解答例です。
いろいろな言い方が考えられます。もし相手に通じなかったら、ほかの言い方にかえてみましょう。

1. 避難所

→家が壊れた時に行きます
家に住めなくなったら、行くところ
家で生活できなくなったら行く場所

2. ご自宅にご遺体を安置されている方は、～課にご連絡ください。

→家に死んだ人がいたら、～課に知らせてください
→家族が死にましたか。おしえてください。

3. 大きな津波が到達する恐れがありますので、沿岸部や川沿いにいる方は、高台等の安全な場所へ避難してください。

→大きな波が来ます。危ないです。すぐ高いところに行ってください。
津波が来ます。危ないです。すぐに海から遠い、高い場所に逃げてください。

日本語は前置きを言ったり、長い文にしたほうが丁寧に聞こえます。ですから、「やさしい日本語」の言い方は、ストレートで、きつく感じたり、違和感を覚えるかもしれません。しかし、外国語では、ストレートな言い方のほうがよい場合もあり、あまり日本語が話せない人には、こちらのほうがわかりやすいです。

このほかにもいろいろな言い方が考えられます。要はその方に伝わればよいので、あなたなりの「やさしい日本語」を探してみてください。

避難所クイズ

ここでは、長久手市一斉訓練防災練で私たちが行った「避難所クイズ」を紹介します。

長久手市には 2017 年 4 月現在で、約 900 人の外国人が住んでいます。これは長久手市の総人口のおよそ 1.6%にあたります。災害が起こったとき、避難所ではみな一緒に生活します。日本語があまり話せない外国人にとって、避難所生活にはどのような困難があるのでしょうか。また、ことばが分からない状況で、どのような気持ちになるのでしょうか。

避難所クイズでは、来場者のみなさんに外国語を使ったクイズを出題し、ことばに不安がある避難所生活がどのようなものか体験していただきました。

クイズは、ことばが分からない人に配慮していない「普通」のクイズと「やさしい」クイズの 2 つがあり、来場者は最初に普通のクイズ、次にやさしいクイズに取り組みました。



普通のクイズには、ヒントは一切ありませんが、やさしいクイズでは、実習生が日本語を使わずにヒントを出します。やさしいクイズは、ほぼ全員の来場者が正解しました。

この 2 パターンのクイズを通して、

- ・避難所生活で外国人が直面する困難は何か？
- ・外国語が分からなくても助け合うことができる

ということを伝えたいと思い、企画しました。

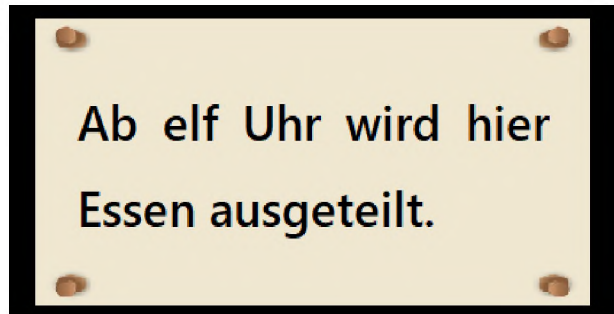
次のページに、実際のクイズを紹介します。

難しいクイズ

- ① ペットボトルが2本あります。
どちらが飲み水でしょうか。



- ② この看板を見て、何をすればいいでしょうか。



- ③ 何を書けばいいでしょうか。

Refuge Shelter Form			
Surname:		Given name:	
Nationality:	Sexuality:	Date of Birth:	
Place of Residency:			
Contact Number:	State of Home: Completely Destroyed / Partially Destroyed/ Partially Damaged/ Burned/ Flooded/ No Damage		
Health Condition /Injuries:		Chronic Illness:	

やさしいクイズ

- ① ペットボトルが2本
あります。どちらが
飲み水でしょうか。



- ② この看板を見て、
何をすれば
いいでしょうか。






11 : 00 ~

Food & Drink

You can get here.



- ③ 何を書けばいいでしょうか。

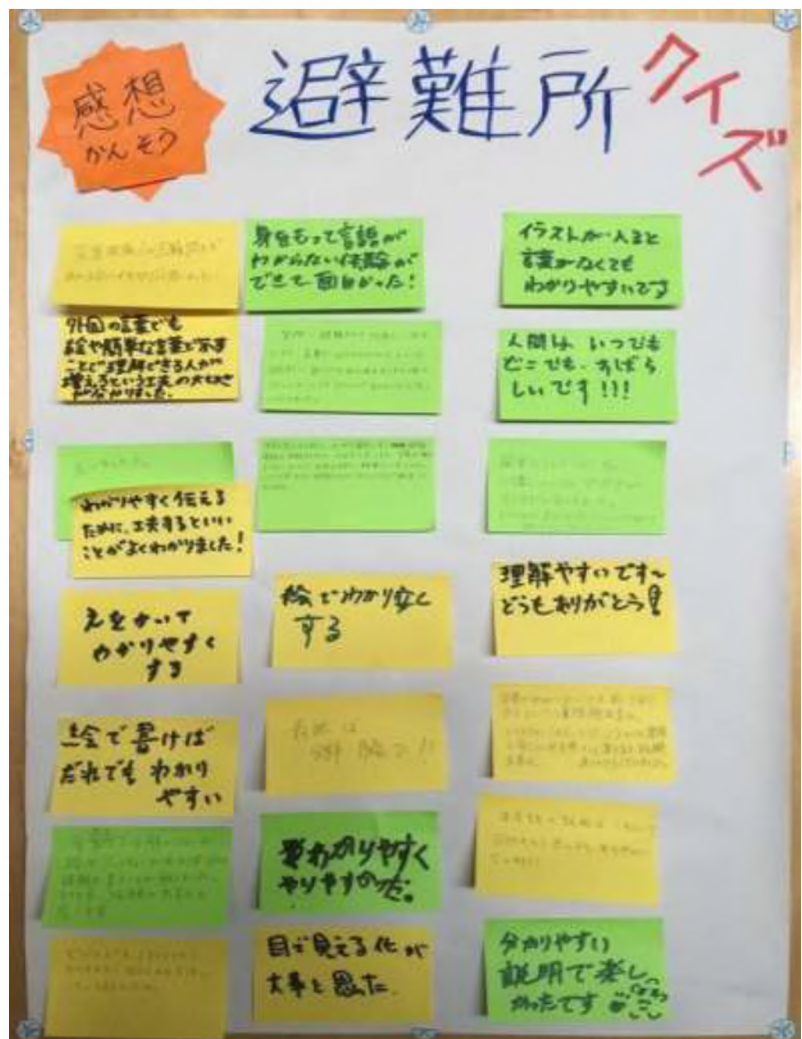
Refuge Shelter Form		
Name:		
Country:	Sexuality: Male/Female /   Other	Birthday:
 Home Address (Where do you live?):		
Telephone Number:	 Is your house ok? Yes / No	
Are you ok? 	Do you have an illness? Do you take medicine? 	

たくさんの方が一緒に生活する避難所生活では、助け合いが必要です。避難所で困っている外国人を見かけたら、話しかけてみてください。クイズで紹介したように、外国語が分からなくてもできることがあります。

- ✓ 文字ではなく、絵や図を使って説明する
- ✓ やさしい日本語を使う
- ✓ 身振り、手ぶりをを使って説明する

上のような工夫をすれば、難しい掲示や放送も伝えることができます。もしあなたの隣に言葉が分からなくて困っている人がいたら、難しい「普通の」日本語から「やさしい日本語」に通訳してあげてください。

来場者から避難所クイズに参加した感想をいただきました。



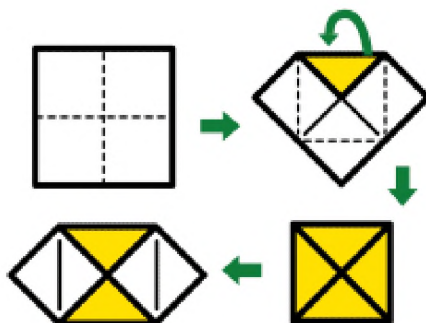
新聞紙って使える！その1

新聞紙でお皿を作ろう！

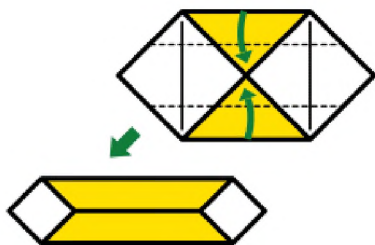
画像 <https://uf-polywrap.link/articles/XGs3T>

① 新聞紙を正方形にします。

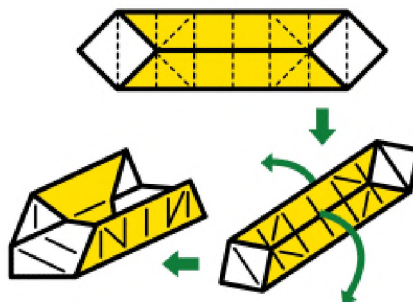
② たてとよこに、半分におります。
もういちど、もどします。



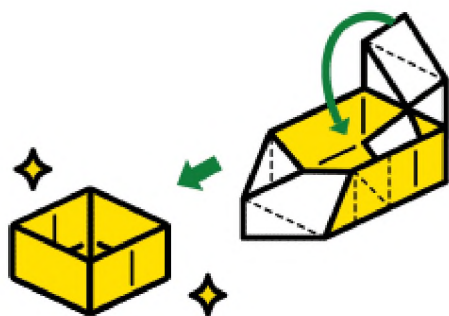
③ 角を真ん中にあわせております。
上と下は、そのままにします。
左と右は、もどします。



④ 上と下をもう一度折ります。



⑤ 左と右から、3回ずつおります。
もういちど、もどします。
④の上と下を立てます。



⑥ もういちど、左と右をおります。
ビニール袋をかぶせると、スープを
入れることもできます。

新聞紙って使える！その2

新聞紙でスリッパを作ろう！

画像 <https://sonaeru.jp/goods/handiwork/groceries/g-9/>

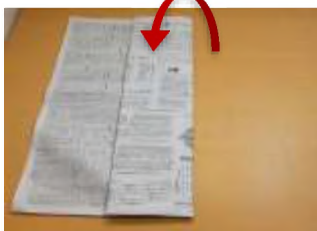
① 新聞紙を広げます。



② 右はしを、まんなかの線にあわせて、おきます。

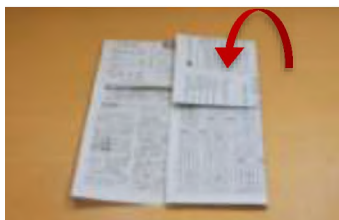


③ もういちど、右から左におきます。



④ 新聞をうらがえします。
重なっている方を上にします。

⑤ だいたい3分の1のところまで右から左におきます。



⑥ つぎに、左から右におきます。



⑦ 左側を、右側の中に入れます。



⑧ 折ったところを、内側に折り入れます。



⑨ ひっくり返して
完成！



※新聞を半分にしてから作ると、
子ども用のサイズになります。

愛知県立大学日本語教員課程について

私たちは、愛知県立大学日本語教員課程で学ぶ大学生です。

愛知県立大学の外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部の3つの学部の学生は**副専攻**として**日本語教員課程**を履修できます。日本語教員課程の必修単位 36 単位を修得すると、卒業時に「日本語教員課程修了証」が交付されます。

日本語教員は、**教育職員養成課程の国語教師とは異なります**。この課程では、一言で言うと「非日本語母語話者に日本語を教えること」を学びます。日本語の文法やその教え方だけでなく、日本にいる外国人の現状や来日するまでの背景、日本の外国人に対する制度についても理解を深めることで、より適切な支援ができるようになります。

日本語教員課程では、**1年間の日本語教育実習**にも取り組みます。実習では、教室活動案の作成や大学内の留学生への日本語支援などを行います。さらに、地域の日本語教室の調査や長久手市国際交流協会の日本語ボランティア教室でも活動を行います。

防災訓練や日本語学習支援に関するイベントへの参加など、課外活動も多く取り入れられています。こうした活動を通して、日本語教育のみならず、文化や価値観の違う相手と共に生きる、多文化共生についても実践を通して学んでいきます。

日本語教員課程で学ぶなかで、私たちは、日本という国についてや、私たちを取り巻く社会、そして他者への理解を深めてきました。日本に住む外国人が増えていることや、さまざまな理由で日本語を学べる状況ではない外国人住民がいることも知りました。日常生活ではもちろん、自然災害に見舞われた時、彼らと協力して生きる方法を考えた時、「やさしい日本語」の必要性に気づきました。

私たちの経験や想いが、このハンドブックを手にして下さったあなたの役に、少しでも立ちますように。

2018年2月12日
愛知県立大学日本語教育実習生

付録

災害時にできること

① 熊本市の日本語教室の例

→元々ボランティアと学習者の LINE グループがあり、それを利用して避難所や給水所の情報、さらに営業している食品店・ガソリンスタンド・温泉等の生活情報を共有した。

② 新潟県柏崎市の日本語教室の例

→中越沖地震発生後、二週間ほど経ってから日本語教室のボランティアと学習者で集まった。話し合うことで恐怖を共有し合うことができた。集まることは安心につながる。

※私たちが工夫できること

- ・ LINE より Facebook を利用する外国人住民が多いので、ボランティアが Facebook の機能を活用し、Facebook の繋がりを作ると良い。
- ・ 誰にとっても「やさしい日本語」かを考えて「やさしい日本語」を使う。

普段からできること

① 熊本市の日本語教室の例

→日頃から日本語教室外のイベントと一緒に参加したり、生活情報の交換をするなど、「つながり」作りをしている。

→熊本県立大学と協力して作成した地域日本語教室のテキスト教材を使って「地震編」や「災害編」を学習していた。

→日本語教室がない地域に新しい日本語教室を作った。外国人住民と日本人住民がお喋りをして交流を深め、地域のお祭りや清掃といった行事に参加するなどの活動をしている。

② 兵庫県の日本語教室「マルカル」の例

→日本語教室で知り合った人同士が企画して料理教室を行うなどの「つながり」作りをしている。

- ① 事前に地震に関するストック情報を増やす
- ② いざという時のために近所の日本人住民とのつながりをつくる

2017 年度日本語教育実習生、鈴木明音さんの卒業論文
「熊本地震から見る災害時の情報共有のあり方」より